



循環社会推進協議会 2025 年度第 1 回公開セミナー報告書

1. 開催日時： 2025 年 5 月 21 日 10 時 00 分～12 時 00 分

2. 開催場所： 産業貿易センター B102 大会議室

3. Web 会議(Webex) ハイブリット形式

4. 参加者：約 100 名 WEB 参加者含む

5. 内容

開会挨拶 実行委員長 一般社団法人循環社会推進協議会 代表理事 熊谷枝折

① ご来賓挨拶 関東経済産業局 産業部 製造産業課長 澤原宜謙様
徳島県三好市 副市長 北川政宏様

② 活動概要説明
「農業（林業）・漁業そして近代産業」
一般社団法人循環社会推進協議会 代表理事 熊谷枝折

③ 講演 1
「プロジェクトの展開」「グリーン・マテリアルの循環と実現」
一般社団法人循環社会推進協議会 理事 会長 坂本満

④ 講演 2
「サーキュラーエコノミーとなる Mg の製錬について」
「グリーンピジョン法とグリーン電解法」
東北大学 多元物質科学研究所 教授 柴田浩幸
一般社団法人循環社会推進協議会 理事 製錬部会長

⑤ 講演 3
「サステイナブルなモビリティの開発」
玉川大学 工学部 教授 斉藤純
一般社団法人循環社会推進協議会 開発委員会 EV 部会
※本年度の開催（大潟村 WGC）について（秋田市議会議員 若松尚利）

⑥ 質疑応答

Q: 産業新聞社の田島記者から柴田先生に、マグネシウム製錬技術を社会実装す

る上での大きな課題は何かという質問がなされた。

A: 柴田先生からは、①如何に電力が使えるか、②ラボスケールから何万トン／年というレベルへのスケールアップ、③コスト面、が重要な課題であると返答された。

Q: 北川副市長から、三好市では小水力発電がエネルギー源として考えられるが、製錬工場ではどの位の電力が必要なのかと質問があった。

A: 現在、実験レベルで要する小さい電力から大きい規模を見積もろうという所まで来ていると返答があった。

閉会挨拶 実行副委員長 前田雅彦（革新推進委員会委員長）

以上



「Mg-Day in YOKOHAMA」

（於：「産業貿易センター B102 大会議室」）

公開セミナー（現地及びWeb会議）

ご来賓挨拶

経済産業省 関東経済産業局
産業部製造産業課長 澤原宜 謙

（サワラギ ケン）



経済産業省
関東経済産業局

サポートします!!**地域経済**
— 広域関東圏から日本を元気に —



フロンティア
サービス産業の競争

経済産業省
関東経済産業局



